

令和4年度

地域を支える 部会活動

コミュニティひばりの1年間の活動報告です。今回は広報が部会取材し、紹介も交えています！コミュニティってどんな人たちがどんな活動してるの？多くの方に知っていただけたら幸いです。

子ども福祉部会

寺子屋事業 「たけのこクラブ」

小学1・2年生の希望者のみですがみんなで宿題をしたり、プリントに取り組んでいます。間違い探しや迷路にも挑戦。課題をやりとげたらシールを張ります。



シール貼。シールが一杯になるのも楽しみ！

たけのこクラブの様子。

interview

3コミュニティに 子ども館を誕生

部会長：河野 明美



もともとは子育てが苦手なほうだったという河野さん。PTA役員や主任児童委員、補導員を経験する中で様々な勉強会に参加し子育て支援が生活の中心に。6ブロックに小さくても子ども館が欲しいと活動をし、地域運営するスタイルで誕生させました。子育て中のお母さんから「河野さんに助けてもらった」と感謝の声をよく聞きます。

interview

若い層が参加したくなる ようなイベントを

委員長：長榮 浩一



万年坂地蔵の小屋を再生、カフェをオープンさせるなど大工仕事もITにも奮闘されている長榮さん。「花屋敷つつじが丘自治会は子ども会がなくなったことから、みんなが集える機会を考えています。例えばドローン体験会など、若い層が興味を持ってくれるものを積極的に開催しています。」とのこと。定年になり、社会とつながりを持つことが会長を引き受けた理由。『しなやかな日本列島のつくりかた』『縮小ニッポンの衝撃』などの本を読んで何をすべきかを考えました。読んだ中に新雅史さんの「自分の命を越えて何か引き継ぎべきものがあるだろう」という文が心に残っているそうです。

地区防災計画推進委員会

いざという時のために ペットの災害対策を

災害が起こった時、ペットを守るように日頃からどのような災害対策が必要か、また、ペットを飼養して

いなくても無関係でないということを過去の災害事例から学びました。この地域において少しずつペットの災害対策を進めていきたいと考えています。

- 7月… ペットの災害対策座学習
- 10月… ひばり祭り（段ボールベッド・避難所間仕切りテント・防災食）
- 11月… 他地域のまちづくり協議会との意見交換
- 2月… ペット同行避難訓練



防災講演会「ペット同行避難～あなたとペットの災害対策～」の様子。

校区人権啓発推進委員会

人と人が繋がる あたたかい地域を 目指して

委員長：梅田 美佐子

DVD「ケアラー～だれもが人権尊重される社会を～」の鑑賞。家族の環境から起こる出来事、自分だけの問題とせず、助けを求めていいんだよという気持ちになりました。地域の人と人を繋げ、市やコミュニティ、学校、専門機関などが連携できる道筋、SOSを発信しやすい人間関係づくりから、春の訪れを感じられる兎年「これまでの努力が花開き、実り始める」あたたかい地域を目指します。



環境部会

樹木調査を実施、 樹木マップを作成

まちづくり計画の一環として自治会ごとに樹木調査を実施、今年度は樹木マップを作成し全戸配布する。きずきの森については「木を切りすぎ」という意見があり、台風等による危険木のみ伐採した。イベントはきずき会の協力のもと全体で約750名参加。長尾台小、雲雀丘学園の環境学習支援。



長尾台小学校きずきの森環境学習の様子

interview

きずきの森を多くの 人に知ってほしい

部会長：中尾 幸子

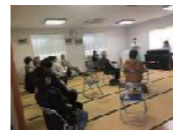


PTAで人権担当になったことがきっかけで人権擁護委員を経験されている中尾さん。環境部会は自治会の委員と個人会員と一緒にコミセンで会議しています。「きずきな会」はきずきの森の整備活動で川西市の方も含めると30人程度です。きずきな会にコミュニティひばりの会員をもっと増やしたいとの思いを語られました。

文化交流部会

音楽で心の癒しを

部会長：多田 久子



2023年3月19日春のコンサートをコミュニティひばりで開催しました。音楽は、時代の応援歌の贈り物をして、人々の心を癒し表現の文化ができます。コンサートは、コミュニティ活動の大切な活性です。

ピアニスト 松田 真理子さん にインタビュー



- Q：松田さんは2007年にスタートした文化交流部会のコンサートに計16回、ご出演いただいています。
- A：演奏家にとって聞いていただく舞台は貴重なものでありがたいことと思っています。
- Q：今日はグランドピアノのあるご自宅ですが、高校の先生でもいらしたのですね？
- A：主人が大学で教育学を教えていたので、同じ世界を持ちたいと大学院に行き先生になりました。自宅の教室でもそうですが「作曲家の心を伝えるように弾きなさい」と指導しています。
- Q：毎日かなり弾かれるのでしょうか？
- A：少なくとも2時間は…。夫が7年前に難病を発症した時は必死で治療法を探し求め介護を続けましたが、そんな時でもピアノを弾く時間が慰めになりました。夫は「必ず歩けるようになる」と頑張ってくれました。歩きやすいように玄関の靴箱にバーを取り付けたのも私。
- Q：まさに夫唱婦随、いえ婦唱夫随の素晴らしいカップルですね。
- A：ありがとうございます。

安全部会

おさんぽパトロールで 安心安全見守り活動を

interview

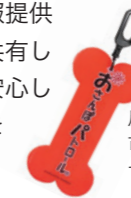
子どもの頃からの 地域とのふれあい が郷土愛を育む

部会長：下堂 昇



昨年度実施した通学路点検をした箇所の経過と新たな危険箇所がないかの確認をしました。宝塚市社会福祉協議会の助成を受けて安心安全見守り活動を始めました。犬の散歩、ウォーキング、ジョギング、登校時の見守り時にバッグや着衣にグッズを付け気になる案件があれば自治会・民生児童委員・安全部会へ情報提供いただきます。情報を共有し地域住民の意識を高め安心して暮らせるまちづくりをしましょう。

「満願寺さんのそばで生まれ、70年以上。周囲は馴染み人ばかり。40代から自治会に参加しそのままコミュニティの安全部会にも参加しました。パソコンが苦手でしたが『それは任せて』と宮本さんからの言葉があり、会長職を受けました。」子ども神輿も大好きな下堂さん。いろんな方から相談ごとを受けることが多いのだそう。



反射素材を使用した可愛いキーホルダーで安全パトロール

福祉部会

認知症サポーター養成 講座を初開催

部会長：円藤 義治

4月に新規のサロンが2つ増え、認知症サポーター養成講座を初開催、介護の話し合い「しゃぼん玉」をふじが丘にて開催。11月には、新任民生・児童委員を迎え、3月にはマップ最新号を配布！兎の跳び姿から「飛躍」を目指し、忍耐強く継続、優しい見守りに努めます。



福祉資源マップがリニューアル！「健幸スマイルマップ」に



認知症サポーター養成講座の様子